

『豊かな感受性を育む表現活動の充実』

あま市立七宝小学校

1 目的

- (1) さまざまな表現活動を通して、豊かな感性を養い、自ら積極的に文化的活動に取り組もうとする児童を育成します。
- (2) 本物の歌唱や楽器演奏などの表現にふれ、音楽を心から愛する児童を育成します。

2 内容

- (1) 「七宝小フェスタ」を通して、言語表現を磨き、身体表現を工夫し、個々の表現力を高めます。
- (2) 金管部とのコラボレーションを楽しんだり全校で合唱するなかに表現活動を取り入れたりする。さらには、PTAコーラス部の合唱を鑑賞したりするなど、多彩な表現活動に親しむ機会を増やすなど、「歌声集会」の充実を図ります。
- (3) 金管部は、海部地域の団体に加盟し、技術講習会に参加するなど、楽器演奏の技術を高め、より確かな演奏力を身に付けます。
- (4) 金管部・バトン部は、専門家の指導を受け、より高度な技術を身に付けます。
- (5) 野外活動においては、充実した活動を行うために愛知キャンプカウンセラー協会所属の講師を活用し、児童の心に残る活動にします。



フェスタでの表現活動

3 評価

- (1) 外部講師を招いて、より専門的な指導を受けることで、児童の意欲と力量の向上につながりました。講師との打ち合わせ時間を事前に十分設けることで、無駄なくより効果的な指導を行うことができました。
- (2) 野外活動では専門的な立場で児童の安全を図るための支援を受けることができました。事前打ち合わせを行い、綿密な計画を立て、実行につながられました。
- (3) 七宝小フェスタや歌声集会は、各学年それぞれが特徴を生かした発表内容を考えることにより、自ら表現を工夫するなど内容に深まりができ、自ら進んで文化活動に取り組もうとする意欲が高まりました。

4 課題

- ・ 豊かな感受性を養うための取組は成果を修めています。芸術鑑賞会等を通して、表現する楽しさを体験し、関心を高めることができました。さらに、感性を高めるために現職教育等で取り上げ、継続して実践していく力を高める必要があります。

『コミュニティ・スクール』

あま市立七宝小学校

1 目的

- (1) 保護者や地域住民とお互いに情報や課題を共有していくことで、「これからの時代を生きる子ども達のために」という共通の目標・ビジョンをもって教育活動を進めていく。
- (2) 学校と地域がパートナーとして、連携・協働して子ども達の成長に関わり、子ども達の学びをより充実させていく。

2 内容

- (1) 学校運営協議会を通して、子ども達がどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのか等、共通の目標・ビジョンをもち役割分担をして連携・協働によって取り組む仕組みを整える。
- (2) 地域人材を学習に生かし、より充実した体験活動を実践したり、保護者や地域の関係機関の協力を得て、校外学習の場で共に活動したりする。
(室町文化体験、大正琴、昔の遊び体験、七宝の昔を知ろう等)
(地域探検、スーパー見学、佐藤醸造見学、アートヴィレッジ七宝焼き体験等)
- (3) 地域と連携した避難訓練および防災関係の体験学習を行う。

3 評価

- (1) 学校・家庭・地域の代表者から構成される学校運営協議会を年間5回開きました。
「自ら進んで挨拶」を課題として協議し、課題解決に向けた具体的な取組を実施しました。
- (2) 室町文化体験では、茶の湯や生け花など技能の指導だけにとどまらず、歴史や伝統作法などについても専門的な立場で指導を受けました。



生け花の様子

- (3) 区長やPTA役員に避難訓練や炊き出し体験の様子を見てもらい、学校の防災に関する取組に対する理解を得ることができました。また、防災ボックスの説明や備蓄物品の周知により、保護者の方々はじめ、地域の方と防災のあり方について、意見交換を行うことができました。

4 課題

- ・ 防災ボックスの存在や備蓄物の内容については、一部の方にしか伝わっていないことを再認識しました。来年度以降も、こうした機会を多く設定し、より多くの方々に周知できるようにしていきたいと考えます。

『確かな学力の育成と道德教育の充実』

あま市立七宝小学校

1 目的

- (1) 児童に学習規律を定着させ、基礎的・基本的な内容を身に付けさせるとともに、「学力」達成目標に取り組む。
- (2) 道德の教科化に向けて、道德教育の充実を図る。

2 内容

- (1) 教科などの指導内容・指導方法の工夫・改善
ア 学習指導要領を円滑に実施し、児童の学習意欲を高め確かな学力を確実に身に付けさせるため、研修会や資料などを充実させ、指導内容・指導方法を工夫・改善します。
イ 児童の学習意欲や能力を高めるため、長期休業中に外部講師を招聘して指導技術を高め、指導内容・指導方法の工夫・改善に努め授業力を高めま



授業のUD化に向けた研修

- (2) 道德性を高め、自己の生き方についての考えを深めていくための授業展開の工夫をしたり、道德の時間と各教科、特別活動及び総合的な学習などとの関連を意識した授業づくりしたりするなど、道德の教科化を意識した授業改善を図ります。

3 評価

- (1) ユニバーサルデザインを取り入れた教室環境づくり、授業づくりや授業で役立つ具体的な指導技術について研修を進めてきた結果、昨年度よりもより多くの教師が指導方法の工夫・改善に積極的に努め、児童の学習に対する意欲の向上へとつながりました。
- (2) 問題設定の仕方や問題解決を促す発問例・多面的多角的に考える発問例など、「考え議論する道德科」の指導方法や評価について学ぶことができました。

4 課題

- ・ どの学年、どの学級においても共通して指導すべき学習規律を明確にし、同一步調で進めていくことが基礎・基本を身に付けさせ、学力の向上にもつながります。
- ・ 子どもが道德を学習した軌跡や成果をどのような形で蓄積し、どのように評価していくのか、現職教育等で研修を深めていきます。

『豊かな心を育む』

あま市立七宝小学校

1 目的

児童の心を育てるために環境を整え、児童が豊かな気持ちで学習や諸活動に取り組めるようにします。

2 内容

- (1) 児童が草花を育て、世話をする活動を通して豊かな感性を養い、生き物を心から慈しもうとする心情を育てます。
- (2) 育てた草花を絵画や粘土、工作などに表現し表現する喜びを味わうとともに他の児童の作品を鑑賞することで互いのよさを認め合う心情を育てます。
- (3) 自然に親しむことで、身のまわりの環境に関心をもち、自らよりよい環境をつくり出そうとする態度を育成します。
- (4) FBC活動に全校児童とPTA花壇クラブが参加し、校内の美化や地域への花配布を行い、花を愛する心や郷土愛を育成します。
- (5) よりよい学級づくりのために、ハイパーQ-Uを実施し、児童が楽しく学校生活を送ることができるような手立てを講じます。
- (6) あたたかな人間関係づくりを目指すために、ソーシャルスキルトレーニングと構成的グループエンカウンターのねらいを統合したシッピータイムを定期的実施します。



苗をカップに移植したよ

3 評価

- (1) FBC活動に全校児童とPTA花壇クラブが参加し、地域への花苗を配付することで学校教育への理解が深まっています。
- (2) ウサギの飼育や獣医師の指導を通して命の大切さを学ぶ学習を行い、動物愛護の精神や命を尊重しようとする態度を高めることができました。
- (3) ハイパーQ-Uの結果を分析し、個に応じた支援・指導方法や学級集団への働きかけを工夫していくことで、親和的な学級経営に大いに役立てることができました。
- (4) シッピータイムで身に付きつつある傾聴の姿勢は、話す方に安心感が生まれ自己有用感を高めることにつながりました。

4 課題

- ・ 傾聴姿勢を身に付けさせていくためには、シッピータイムのルールや心得をどの教科・領域の学習においても絶えず意識して取り組むことが大切です。

